

水の中には 生き物いっぱい!

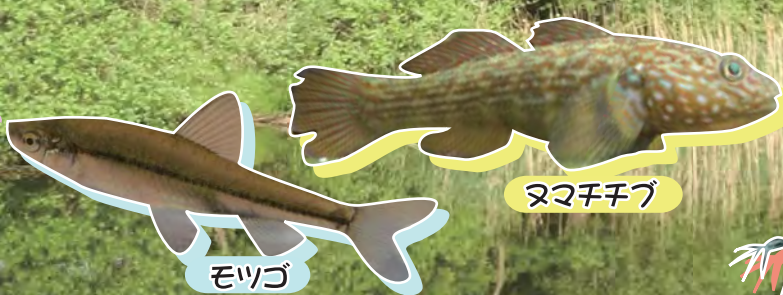
くわぶくろ
桑袋ビオトープ公園

ニュースレター

5
2016



スジエビ



モツゴ



ヌマチチブ



ギンヤンマのヤゴ (幼虫)



ミジンコ

みずべ 水辺の生き物大調査

5月5日(木祝)

ワナやアミを使って、ため池やハス田の生き物をつかまえて調べてみよう。



いずれのイベントも

時間 14:00~15:00 (13:45から受付開始) / 定員 20名 (先着順)
参加費 無料 / 対象 どなたでも (就学前の子どもは保護者の参加が必要)

ミジンコを探せ!

5月22日(日)

特別な道具でミジンコをつかまえて、虫メガネや顕微鏡で観察してみよう。



アメリカザリガニ

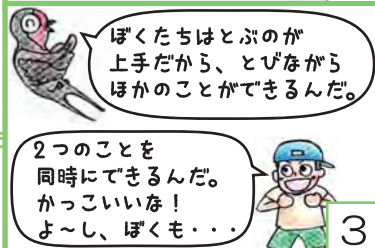
4コマ劇場



1



2



3



4

テントウムシコレクション

5月1日(日)

いろいろな色や模様のテントウムシをみんなで見つけて観察してみよう。



時間 14:00~15:00 (13:45から受付開始) / 定員 20名 (先着順)
対象 どなたでも (就学前の子どもは保護者の参加が必要) 参加費 無料

しぜん 自然のあそび屋台

5月3日(火祝)、4日(水祝)、8日(日)、15日(日)、29日(日)

園内の季節の自然を楽しむ屋台。
好きなプログラムを選んで挑戦しよう。

時間 14:00~14:30 / 対象 どなたでも / 参加費 無料
場所 うき島池観察デッキ横 ※荒天の場合、外での活動を中止する場合があります。

しぜん 自然発見ビンゴに挑戦



公園のみどころ紹介

ミジンコの生き残り作戦

体の色が変わる？

ハス田をよーくのぞいてみると、ミジンコという、とても小さな生き物が動いているのが見えます。このミジンコ、池にいるモツゴなどの小さな魚にとってはエサとなり、普段は魚に見つかりにくいように透明な姿をしています。しかし、時には赤い体になることがあります。赤い体は魚に見つかりやすいのですが、なぜ赤い体になるのでしょうか？

カイミジンコ



赤い色の正体

赤い色の正体は、ヘモグロビンという酸素を運ぶ赤い粒です。水中の酸素が少なくなると、ミジンコは体の中でヘモグロビンを作り、酸素が少ない状況でも元気に活動できるようにしています。しかしヘモグロビンを作れない魚は酸素不足で弱ってしまいます。そのため普段より目立つ赤い体色になったとしても、ミジンコが魚に食べられる心配は減するというわけです。小さな体でも生き残るための工夫をしているミジンコ、じっくり観察してみると面白い発見がありますよ。

【解説員 宝槻】

ビオトープ生き物図鑑

NO.12 カキツバタ



見つけやすさ 易しい ★☆☆☆☆ 難しい

例年ゴールデンウィーク頃に見頃を迎える紫色の花で、うき島池の観察デッキ周辺で見られます。花びら中央に白い線が入ることや、咲く場所が水辺という点で、似ている花のアヤメやノハナショウブと区別できます。

ボランティア日記

3月12日(土)

平成28年度活動計画作成

私たち公園管理ボランティアは、うき島池やハス田で生き物が生息しやすい水辺空間を作る活動をしています。今回の活動では、私たちが関わる水辺の2大イベント、「ため池のかい掘り体験」と「どろんこハス掘り体験」を中心に、平成28年度の計画を作成しました。来園者のみなさんに水辺の生き物や景色を楽しんでもらえるよう、平成28年度も活動していきたいと思います。是非公園に足を運んでください。お待ちしております。

【4期生 高橋】

ご利用案内

開園時間 東武伊勢崎線(東武スカイツリーライン)「谷塚駅」から東武バス「花畑桑袋団地」行きで「保育所前」下車、徒歩5分

2月~10月
9:00~17:00

11月~1月
9:00~16:30

休園日
月曜日
(祝日の場合、直後の平日)

年末年始
(12月28日~翌1月4日)

入園料 駐車場
無料 無料(11台)

お問い合わせ先

桑袋ビオトープ公園(あやせ川清流館)
〒121-0061 足立区花畑8-2-2

TEL: 03-3884-1021
FAX: 03-3884-1041
HP: <http://ces-net.jp/biotop/>
E-mail: bio-park@ces-net.jp



※ご利用には通信料がかかります。
※機種によってはご覧いただけない場合があります。

交通案内

東武伊勢崎線(東武スカイツリーライン)「谷塚駅」から東武バス「花畑桑袋団地」行きで「保育所前」下車、徒歩5分

